

会議概要（平成31年2月5日）

案 件 議会報告会について、その他

1 災害時の議会・議員のあり方について

(1) 議会基本条例改正案のパブリックコメントの結果について

議事課長より、パブリックコメントは「なし」の旨を報告、確認。

(2) 議会基本条例における災害対策規定について

議事課長より、「明石市議会基本条例の一部を改正する条例（改正文）」に基づき、第8章 議会の災害対応として、2条を新たに規定する旨を説明、確認。

また、議会活性化推進委員会委員全員による議員提出議案として、議会運営委員会にはかり、3月議会最終日（3月22日）に上程、即決することを確認。

なお、提案理由説明は、議会運営委員会では副委員長、本会議では委員長が行うことを確認。

2 議会報告会について

(1) 平成30年度議会報告会の実施報告について

議事課長より、「議会報告会アンケート集計結果（参加者）」に基づき、集計結果の概要を報告。

また、各委員会の「議会報告会実施報告書」を本委員会終了後、議会ホームページに掲載することを確認。

(2) 議会報告会の検証について

議事課長より、「議会報告会の検証について」に基づき、今年度の議会報告会終了後の各委員会の対応、前回の本委員会でも出された意見から考えられる今後に向けての検討課題、検討項目（案）について説明。

議会報告会終了後に委員同士で課題を共有するための取り組みを行うことについては、全委員から賛成するとの意見があったほか、下記のとおり各委員から意見があり、これらの意見を踏まえ、会派に持ち帰り、次回各会派の意見を聴取することを確認。

委員から出された意見は、下記のとおり。

【議会報告会后に政策課題として取り上げるための仕組み】

- ・ 委員長として、議会報告会後の取り扱いについて悩んだこともあるため、こうした仕組みはあった方がよいと考える。
- ・ 自分が委員長をしていた時には、議会報告会で受けた意見に関連して本会議で質問をしたこともあったが、こうした仕組みがあることは、委員長にとっても非常にありがたいことだと思う。

- ・ 市と情報共有するために、議会報告会後の委員会で協議した内容の報告、委員同士での意見交換、市の見解の聴取などを行い、最終的に委員会でまとまった内容について、本会議の委員長報告の中で報告するような形も考えられる。
- ・ 委員会で意見が一致した内容について、市等に提言を行うことまではできそうだが、それ以上の仕組みについては容易ではないように思う。

【全議員の情報共有】

- ・ それぞれの委員会による議会報告会後の取り組み内容について、当該委員会の所属議員だけでなく、全議員が把握できるような仕組みにできればよい。

【委員会ごとの裁量】

- ・ 政策課題として取り上げることをルール化すれば、常任委員会の構成が毎年変わる一方、解決しきれなかった課題だけが積み重なってしまうことになりはしないかと懸念する。ルールがなくても、委員会の中で機運が盛り上がれば、自然と政策課題として取り上げる方向に流れていくはずであり、委員会の裁量を認め、ある程度自由に取り組めるようにすればよいと考える。

【テーマの継続性】

- ・ テーマの継続性については、次年度の委員長の意向もあるため、次年度以降のテーマを定めることは慎重に検討する必要がある。
- ・ 成果を上げるため、複数年同じテーマで開催したり、年に2回開催したりするなどの取り組みも検討してみてもどうか。

3 その他
なし

4 次回議会活性化推進委員会の開会日時について
2月25日（月）午後2時に開会することを確認。

以 上